

 **みなみおおすみ**

みんなの議会

第**52**号

平成30年
5月号



P2

予算

30年度 一般会計は 66 億円

P4

予算

注目すべき今年度の事業

P6

予算
委員会

30年度予算 ココが知りたい

P8

町政を
問う

一般質問 8 名が登壇

P17

委員会

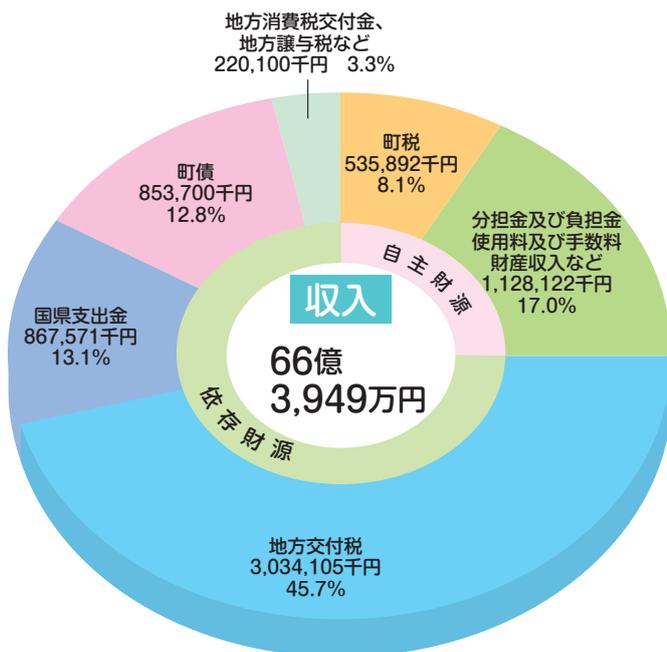
調査レポート

観光費は前年度比1億4千万の増!!

| | |
|-------------|--------------|
| 66億 3,949万円 | 8,075万円 |
| 11億 8,243万円 | △ 3億 0,406万円 |
| 4億 5,419万円 | △ 2億 8,400万円 |
| 1億 2,314万円 | 18万円 |
| 13億 1,866万円 | △ 2,649万円 |
| 1,656万円 | △ 6万円 |
| 7,266万円 | △ 258万円 |
| 1億 3,513万円 | △ 609万円 |
| 99億 4,229万円 | △ 5億 4,237万円 |



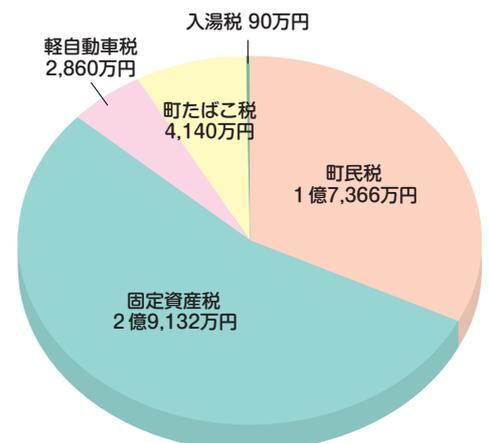
歳入予算の内訳



歳入は「自主財源」と「依存財源」に大別できます。本町は自主財源に乏しく、国や県からの補助金、交付金及び借入金等の依存財源の割合が高くなっています。

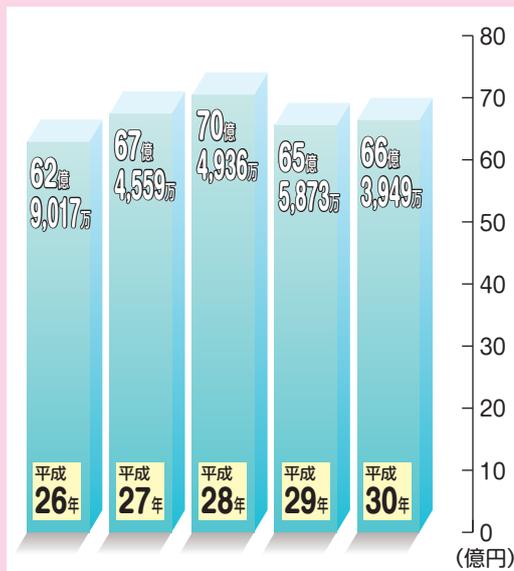
3月会議は7日から27日までの21日間開催され、30年度予算をはじめ、29年度補正予算や条例等を審議し議決しました。一般会計予算は骨格予算となった前年度に比べ微増となっていますが、今後、庁舎建設等が予定されていることから、補正予算による大幅な増加が見込まれます。

町税の内訳

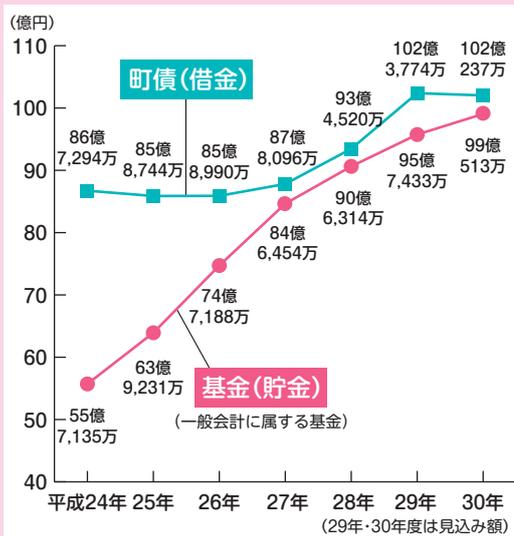


一般会計は66億微増

一般会計予算の推移



貯金と借金は？

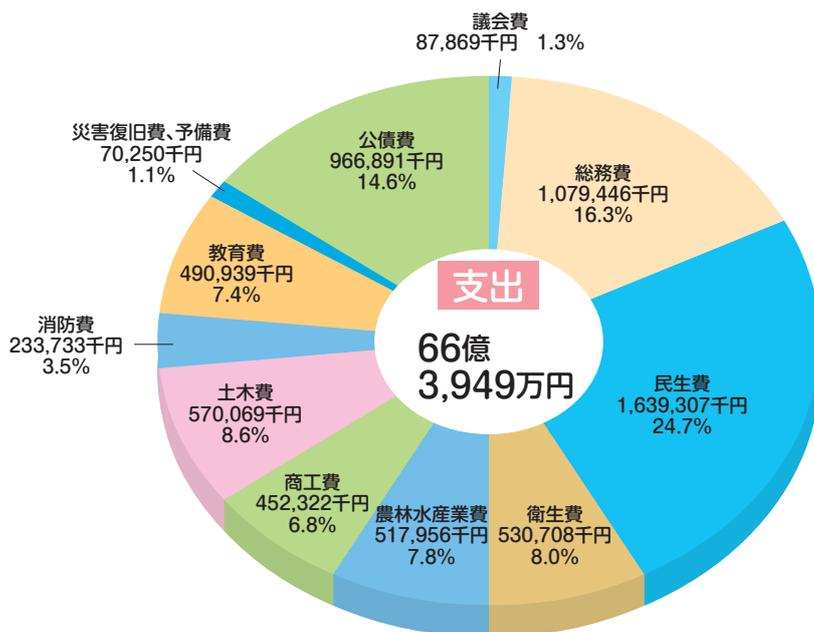


今後、町債(借金)は庁舎建設等による借入れが見込まれる事により増加していく事が見込まれます。

一般会計

| | |
|------|---------------|
| 特別会計 | 国民健康保険事業 |
| | 簡易水道事業 |
| | 診療所事業 |
| | 介護保険 (保険事業) |
| | 介護保険 (サービス事業) |
| | 下水道事業 |
| | 後期高齢者医療事業 |
| 合計 | |

歳出予算の内訳



歳出では福祉の為等に使われる民生費の比率が最も高くなっています。観光費が増加している事から商工費も前年に比べて高くなっています。

佐多岬熱帯果樹施設整備事業

就農者の育成確保のために研修用ハウスを3棟大泊地区に建設し、アボカド・パッションフルーツ・パインアップルを栽培します
また、観光事業との連携を図ります

3,238万円



空き家等解体撤去事業

空き家解体撤去費用の一部を補助します

300万円

南大隅町観光協会運営事業

観光振興を推進していく為に様々な事業を展開します

- 運営費補助事業
- 最南端MY旅プロモーション事業
- プロデューサー招聘事業
- 観光協会収益プロジェクト 等

7,782万円

今年度の事業!!

注目すべき



元気みなぎる町民補助金

一世帯あたり5千円を自治会へ補助します。

1,635万円



南大隅チャレンジ創生事業

自治会に対する助成金と自治会毎のイベントや福祉事業費(70%~90%)への補助金

1,400万円



福祉タクシー助成事業

75歳以上で運転免許証を所持していない方、または、運転免許証を自主返納した方にタクシー券(400円券)×30枚交付

360万円

予算委員会

30年度予算ココが知りたい

地区社協の設置

議員 地区社協の現状と今後の計画は？

介護福祉課 29年度は島泊・辺塚・城以外では体制も整い一部、見守り活動等が始まっている。辺塚地区では、ホームヘルプ及びデイサービス事業の計画もある。30年度は、継続中の登尾地区と佐多地区5地区での設立を計画。

労働力需給体制構築

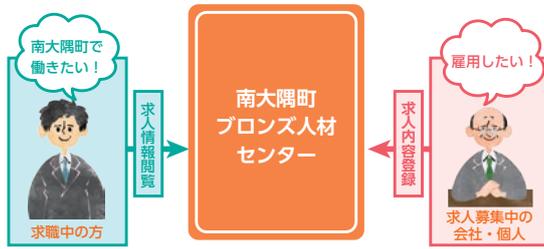
議員 ブロンズ人材センターの職員数と事業の状況は？

企画課 職員は、局長1名とパートが2名。登録会員は40名。現在のところ使ってもらう企業は無く、厳しい状況である。

子育て世代包括支援センター設置

議員 母子保健事業が、103万8千円増額されている。その、主な内容は？

町民保健課 「子育て世代包括支援センター」を、31年までに設置する。そのための先進地視察が主な要因。



ブロンズ人材センターとは？

異年齢集団宿泊学習

議員 サマーチャレンジ体験学習とはどういった事業か、また、参加料は？

教育振興課 小学4年生から、中学生、高校生までの異年齢交流学習で、40名の参加を予定しています。初年度は、阿蘇山、2年目は青島、昨年は霧島で実施し、30年度は、開聞岳登山を計画しています。参加費は、3千円です。



みんなでキャンプ

小中一貫教育

当初予算は全議員で構成する予算委員会で審議され、可否を決定します。



議員 小中一貫教育に係る研修旅費が予算計上されているが、一貫教育の実施時期は？

教育振興課 30年度から4年後の完全実施をめどに、準備を進めます。今年度は、英語を中心にALTを増員し小中学校の先生の交流を図る。また、体育や音楽などの交流に加え、PTA活動や学習発表会、運動会など、連携できるものから進めていく。神山小、根占中は離れているが、出来るところは実施したい。第一佐多中と佐多小は、同じ敷地内での一貫教育を目指す考えである。

補正予算

公営住宅整備事業 (横馬場住宅建替事業)

1億1,207万円



第1期工事として、1K3戸と2DK2戸をそれぞれ、1棟ずつ建設します。

【事業内容】

- 工事請負費
 - ・ 解体工事・1号棟(1K)
 - ・ 2号棟(2DK)・外構工事
- 工事管理委託費

ねっぴー・みさきちゃん 奨学金事業

1億6,935万円

故宮迫夫婦の遺徳により、南大隅町独自の奨学金制度が運用されます。

【財源】

基金繰入金 1億6835万円
(故宮迫氏からの寄付金)
指定寄付金 100万円



農地利用適正化推進委員

農業者と農地利用適正化推進委員との違いは？

農業委員会 農地等に関する許認可を決定する議決権を有するのが農業委員であり、農地利用適正化推進委員は現場での活動が主であり、意見を述べる立場にあります。



只今、平成30年度予算 審査中

平成30年度予算の 委員会審査結果

| 会計名 | 採決結果 |
|--------------------|------|
| 一般会計 | 可決 |
| 国民健康保険事業 | 可決 |
| 簡易水道事業 | 可決 |
| 診療所事業 | 可決 |
| 介護保険 (保険事業勘定) | 可決 |
| 介護保険 (サービス事業勘定) | 可決 |
| 下水道事業 | 可決 |
| 後期高齢者医療事業 | 可決 |

当初予算は予算審査特別委員会に付託され、委員会に於いて審議、討論、採決された後本会議に於いて、委員長報告の後、質疑、討論、採決が行われ、可否が決定します。

私の判断

(○…賛成、×…反対)

※議長は裁決には加わりません。

| | | 浪瀬 敦郎 | 松元 勇治 | 津崎 淳子 | 後藤 道子 | 水谷 俊一 | 日高 孝壽 | 大坪満寿子 | 持留 秋男 | 大久保孝司 | 木佐貫徳和 | 川原 拓郎 | 大村 明雄 |
|--------|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 予 算 | 3月会議 一般会計補正予算(第12号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | 3月会議 特別会計補正予算(全7件) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | 平成30年度一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | 平成30年度特別会計予算(全7件) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 辺地 | 辺地総合整備計画の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 町道 | 町道の路線認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 条例 | 条例制定の件(全6件) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 同意 | 監査委員の選任について同意を求める件 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |

3月会議

町政を問う!

一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人あたりの持ち時間は、答弁を含め60分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。

| | 質問事項 | 質問議員 |
|---|----------------|--------|
| 1 | 財政状況について 他 | 大久保 孝司 |
| 2 | 道の駅根占の現状について 他 | 後藤 道子 |
| 3 | 観光事業について 他 | 木佐貫 徳和 |
| 4 | 観光振興の在り方について 他 | 浪瀬 敦郎 |
| 5 | 観光振興について 他 | 松元 勇治 |
| 6 | 認知症の予防と取組について | 津崎 淳子 |
| 7 | 観光産業の振興について | 水谷 俊一 |
| 8 | 多目的健康広場について | 大坪 満寿子 |



平成30年度財政運営に問う



議員 地方債が増額している現状で30年度当初予算をどのように評価されているか伺います。

町長 国県事業の活用を図り、事業の町負担分や、町単独事業は交付税措置率の高い地方債を利用して一般財源の縮減と将来を見据えて、限りある財源を有効に活用した必要な施策をタイムリーに実施していくための予算編成であると考えます。

議員 地方債8億5千3百70万円の交付税措置の高い地方債はいくらか伺います。

総務課 過疎債、辺地債、合併特例債3つ合わせて、6億5千百80万円です。

議員 30年度地方債見込み額はいくらかですか。

総務課 庁舎建設事業を、30、31年度を均等に割った試算で15億

から16億になると思います。

議員 三年連続16億の地方債となるが、基金を活用したバランスの取れた財政運営は考えられないか。

町長 平成35年度では地方交付税が減少し、約25・6億と予想しており、基金の有効利用がこのタイミングであると考えております。

議員 平成27年度から普通交付税が段階的に縮減され、平成32年度より一本算定となり歳入減少となるが、安定的財政運営の計画は立てられるか伺います。

町長 地方債財高、基金財高、交付税の動向等を中心に35年度迄の計画を立てており、今後も交付税の減少に耐えうる安定的な財政運営に努めます。

議員 30年度、一本算定の普通交付税額を示してください。

総務課 30年度見込額は29億9千3百92万3千円で一本算定額は29億2千万円程度と考えております。

議員 平成27年度から3ヶ年の基金積立額を示してください。

総務課 27年度10億1千9百27万4千円、28年度9億5千5百85万3千円、29年度7億7百万程度見込んでおります。

観光事業について

議員 観光協会の雄川の滝にぎわい創出事業コンテナハウスはゴールデンウィークから開始を目指しておられるが、水道施設のない中で進められる考えか伺います。

町長 本年のゴールデンウィークは去年を上回る集客が見込まれます。この機会を集客集中期間だけでなく、波及効果を狙った宣伝機会、市場分析のデータ採取の絶好の機会として、インフラ整備が進まない中で最良のサービス提供、ビジネスチャンスの創出イメージ訴求の浸透機会の施策として、コンテナハウスを活用したカフェ形態の営業を開始する考えです。

議員 シルバー人材会員の就業支援となる管理棟の必要性を感じるが設置する考えはないか伺います。

町長 県の魅力ある観光地づくり事業により、30年度以降は公衆トイレ、残りの遊歩道、休憩広場等の園地整備が進められる計画です。現在、維持管理や安全対策はシルバー人材センター等に委託しております。管理棟の設置は維持管理を行う上で必要性がありますので県へ要望します。

議員 交通安全対策として町道発電所線、川内線の反射鏡の必要性はないか伺います。

町長 地域住民の意見を聞き、カーブミラーやセーフティサイン板等を設置して、交通事故の未然防止に取り組みます。

議員 昨年の連休等による集客台数に対応した交通対策は計画されているか伺います。

町長 新たな駐車整備(70台)により、駐車可能台数が120台となり交通渋滞や待機車両は緩和されると思いますが、昨年の反省を踏まえ警備員を増員して受入体制の強化を図っていく計画です。

議員のひとり言

道の駅「根占」の現状について



町長 指定管理者と一体となって改善していくよう
是正を求めていく構え

答

議員 道の駅としての機能を果たしているか伺います。

町長 道の駅「根占」におきましても国道269号線沿いに、大型バスの駐車場機能も備えた駐車場と24時間無料で利用できるトイレを設置し、レストランや売店機能を備えた施設として、指定管理者による運営を行っておりますが、道の駅としての機能や要件は果たしているところです。

議員 指定管理者への指導を行っているか伺います。

町長 指定管理者への施設内への快適な環境を保つため施設周辺の除草・清掃及びトイレ等

の清掃については必要に応じて指導を行っているところです。

議員 確認しましたが掃除が行き届いていないと感じました。実際、指定管理者への指導は具体的にどういうことを行っているか伺います。

観光課長 毎月業務報告を提出し、定期調査・随時調査ができることになっています。お客様からのご意見があった場合など、随時是正や改善に向けて協議を持つようにしているところです。

議員 道の駅は観光客誘致の拠点だと思いが現状をどのように捉えているか伺います。

町長 非常に大事なポジションだと考え、観光の窓口になる拠点であると思っております。

申請書作成支援窓口の設置について

町長 新庁舎においても利便性に配慮と事務効率化について十分検討

答

議員 様々な申請書類の提出は住民にとって負担が大きいと思うが現状をどのように捉えているか伺います。

町長 基本的には各担当窓口での手続きを行っており、午前中に限られた時間帯で総合窓口を設置し声かけを行っています。

議員 この総合窓口を常時開設する考えはないか伺います。

総務課長 新庁舎に向けて常時配置することも含めて検討していく考えです。

行政のほうからも出向き、今後の指導を強化していかなければならないと思うところです。

新庁舎計画が進む中で住民目線に立ったサービスを提供することが町民が住みやすく、より幸せを感じるサービスと捉えております。是非、新庁舎において申請書作成支援窓口の設置を希望します。



おもてなしの心をいつまでも持ち続けたい!!

議員のひとり言

木佐貫 徳和 議員

佐多岬・雄川の滝 工事完了後の入込客と本町への経済効果は



佐多岬15万人・雄川の滝14万人見込む。経済効果は観光ニーズ・イメージ認知度調査で消費試算を考えている。

議員

仮に29万人の方が一人千円使っていたら、と3億円近くの経済効果がある。観光産業で起業したいとの問い合わせはなにか。

町長

現時点ではないが、昨年実証運行した高速船なんぎゅうの観光客による観光周遊バスを民間業者が独自に取り組むほか、佐多伊座敷では飲食業を起業される計画もある。観光産業への参加意欲が高まるよう観光協会と連動しながら機運醸成に努める。

議員

観光産業で起業させるために町でメニューを作り、募集した方がいいと思う。エージ

エントによるツアーは20人から30人のバスで来られる。いっぺんに食事をするところが少ない。商業者施設等支援事業を活用して募集することはできないか。

企画課

ビジネスチャンス、そして新しい産業の振興、起業、商業者を助成する事業として、商業者の設備、助成、それにスタートアップ事業がある。商工会に十分周知し、来町された皆様へのおもてなし、所得の向上を図ってもらいたい。

議員

商工会と連携されて、既存の食堂も含めて、来町された方々がもう一度来たいとリピ

ーターが増えるよう取り組んでほしい。

議員

観光協会で旅行業の申請は考えられないか。

町長

観光協会での旅行業申請は、供託金の問題や「旅行業務取扱管理者」の国家資格を持つ人を配置するなどクリアしなければならぬ要件が多い。現在着任している地域おこし協力隊の隊員が国家試験に挑戦したいと聞いている。協力隊任務終了以後は、

旅行業に取り組んでいただけるのではと期待している。

議員

将来的に地域おこし協力隊が起業してもらえという事であれば、いろいろな体験メニューのインスタクターの養成を先にやっていた方がいいと思う。

観光課

体験型観光の取り組みは大事である。必要なインスタクターの養成には前向きに取り組みたい。



議員のひとり言

佐多岬・雄川の滝整備完了後、一過性のブームに終わらせないような対策を…

観光客に対する公共交通等の現状を伺う。



町長 佐多岬、雄川の滝の整備が進み、来訪者が増加傾向にある中、十分な交通アクセス環境の提供が出来ていないと認識。

議員 いろいろ苦慮されていることと思いますが、公共交通等の利用者数のうち観光客数がだいたどの程度か伺います。

観光課 利用者のうち、どれほどが観光客であるかという数字は把握はしておりませんが、高速船なんきゅう10号は4月から12月の間で8,449人の乗船数である状況です。

議員 佐多岬、雄川の滝に来られ帰りに利用されて、楽しんで帰って帰る方もいらっしゃると思いますが、そういう施策は検討されないか伺います。

町長 アンバサダーの神戸松蔭女子大学生の方からの要望とし

ても、2次アクセスに対して、訪ねた所で学生割みたいなものは、出来ないだろうかということの提案は頂いておりますので、検討したいと思っております。

議員 観光振興策における費用対効果をどのように想定しているか伺います。

町長 観光協会と連携しながら、集客増と客単価の向上の2軸展開を推進するために、体験型プログラムの販売や佐多岬コンシェルジュの活用によって、サービス供給体制の強化を図るとともに、訪問者の満足度と単価上昇を目指す施策展開を計画しています。

議員 お土産品の開発。集団で研修し合って品物を作り上げる場として、大泊学校跡地等を使っている考えはないか伺います。

企画課 お土産品作りに使える事業といたしまして、企画提案型町づくり助成事業というのがございます。町民自らが企画提案する事業、これに対しては事業費の5分の4、8割でございますが、50万円を上限支給することとなっております。これまでもお土産開発に利用された例がございます。今後、周知を図っていききたいと思います。

議員 チャレンジ事業及び元気みなぎる町民補助金の活用実績について伺います。

町長 チャレンジ創生事業活用実績でございますが3月14日現在、117自治会・連絡会のうち、102自治会が交付申請を行っており、15自治会が未申請となっております。加えて3連合組織においても申請があるところで、元気みなぎる町民補助金活用実績でございますが、110自治会が交付申請を行っており、7自治会が未申請の状況です。

議員 効果の出ている活用事例にどのような事業があるか伺います。

町長 チャレンジ創生事業の活用事例については、主にかかし制作やおもてなし看板製作等自治会独自の工夫した取り組みが行われている。元気みなぎる町民補助金の活用事例については、自治会運営の維持経費や無線放送施設整備に向けての積立など、将来の負担金軽減の取り組みを行っている自治会もあります。

議員 県道から町道に移管された横別府中央線起点付近の曲折部分改良について伺います。

町長 生活道路として利用されている路線で、交通量も比較的多い路線である。この質問のS字カーブ付近の幅員は確保されているものの、危険性が高いことは理解しておりますので、直進性のある線形を視野に、まずは用地取得に向け所有者や関係者と協議してまいります。

議員 地区住民はもちろん辺塚、大中尾方面からの利用者も多いようですので早急の改良工事を切望します。

横別府中央線起点付近の曲線部分の改良工事を早急に出来るものなら願いたい。

議員のひとり言

松元 勇治 議員

観光関連と

一次産業の中の問題点について



プロジェクト事業も積極的に支援することで民間主導の体制も推進するものと考えております。

議員 観光振興について、雄川の滝の整備について景観保全に対する取り組みはどのように考えられるか。

町長 駐車場に通じる町道沿いの景観整備も検討し、来訪者が満足していただける案内表示や清潔感のある維持管理に努めます。

議員 満足度を提供できる施策は考えられないか。

観光課 雄川の滝のガイド商品の確立に向けた実地研修を行っています。おもてなし隊と連携して、観光ガイドの質を上げて



いけばと考えています。

議員 商品開発にも必要な原材料を冷凍保存する施設はできないか。

町長 一次産業の水産業においては、瞬間冷凍庫を設置して、流通形態の中で高付加価値を生んで実績がありますので、農業政策に関しても今後検討していきます。

議員 この質問は、前も質問したことであり、導入に向けて検討していきたいと考えていると答えられています。冷凍施設は全ての一次産品の確保に関して、また、加工するにあたり、土産物などに使える原材料となるものを、ストックする施設として、確実に先に進めていただきたい。

さつまいもなど(いも類)を保存する保管所はできないか。

町長 佐多岬紅はるか部会の組織化を行い、貯蔵コンテナの購入支援を実施しております。平成30年度から、佐多岬熱帯果樹施設整備事業において、冷凍保存

庫等の整備を計画しているところです。

農業用マルチシートの廃材処理費を一部補助はできないか。

町長 一部補助につきましては、今回値上げ分の2分の1の助成を予定しているところです。

議員 農業、使用済み農薬容器などの処理について、どのように周知・指導しているか。

町長 農業営農指導員やJAの職員により、作物別の合や個別に使用出来なくなった農薬の告知や離農等による農薬の処分についても指導を実施しています。一般家庭の農薬容器等を含めて回収方法の周知徹底を図り、農業資材の適正な廃棄処理について啓発に努めます。

議員のひとり言

本町における 認知症高齢者等の人数及び その方々に対する支援の現状は



町長 「認知症高齢者の日常生活自立度が2以上」の方は500人程で、支援の現状は「南大隅町認知症初期支援チーム」により早期受診・早期対応に努め、支援策を検討し必要に応じて各サービスの利用等に繋がっている。

議員 高齢化率が50%に近づこうとしています。国の推計で2012年で65才以上高齢者の約4人に1人が認知症又は予備軍と言われています。本町で認知症の方が500人程と言われましたが軽度認知症の方を入れたらもっと多くなると思います。いち早く認知症初期支援チームを発足され認知症初期の対応で抑えられ改善され大きく貢献されていると思います。

私達は絶対に認知症にならないとは限らないし、なった時に本人が記憶障害や見当識障害や理解・判断力にも支障が出てきたりするかもしれない。

ません。そこで、認知症になる前に平成27年度に包括支援センターが作成され全サロンで配布された「あんしんノート」をもっと広げませんか。昔の思い出をできるだけ記入があれば、徘徊をする目的を知る糸口になるかもしれませんし、この記載はコミュニケーションをとるのに家族や第三者が関わる時にも参考になります。あと余命告知や終末期医療の希望やお葬式やお墓についてなど自分と向き合うことが出来るし家族や第三者が本人の思いを知る参考になります。救急車要請の時にこのノートは使えないか南部消防署の救急

隊に聞きに行き、意見・要望を頂きました。「あればすぐ助かります」と言われ、「救急隊も閲覧できます」と記入もあればよいと。このノートは、自分を見つめ直し、自分の思いを伝えるエンディングノートになると思いますし必要だと思えます。

認知症を予防するための対策をしているのか伺います。

町長 認知症の予防は、「生活習慣病の予防が、認知症の発症リスクを少なくする」と言われています。各種運動教室や転ばん体操、栄養教室などの介護予防の取組みや特定健診、保健指導による生活習慣病予防に取り組んでいます。

議員 認知症の危険因子である糖尿病・高血圧・肥満・運動不足・塩分の取り過ぎ・喫煙等、3個以上の危険因子を有する者は危険因子のないものに比べて3倍以上のリスクとなります。発症を抑制する因子として、食事や運動の習慣と知的・社会的活動により認知症予防、改善に繋がると思えます。引き続きお願いします。

今後、理解を深めるための普及・啓発をどのように実施していく考えなのか伺います。

町長 認知症サポーター養成講座や認知症講話等の広報を強化し、サポーターの更なる増員に努めるほか、関わり方やサポーター活動の方法など、サポーターを対象とした「ステップアップ講座」や「認知症徘徊模擬訓練」の開催を検討し、より多くの方に認知症を理解していただくための普及・啓発に努めていく。

議員 私達、議員も養成講座を受け公私共に地域に広げ、町民が安心して認知症高齢者に優しい町にしたいと願います。

※徘徊とは、家の中や外を歩き回る行動で目的不明に見えるが本人にとってははつきりとした目的がある場合が多い。

議員のひとり言 あんしんノートは認知症高齢者・独居高齢者には必要だと思う。いいのになあ。

水谷 俊一 議員

「観光振興」による「経済基盤の確立」の具体策は？



町長 入込客数と消費額を増やす為に観光サービスの新規開発と体制強化が必要である。

議員

平成30年度より、観光協会へ招聘された、地域観光プロデューサーによって立案されたプロジェクトが実施されることで、観光事業の収益化が加速されると見込んでいます。具体的には、雄川の滝を中心とした戦略に基づく魅力的なアクティビティーにより、今までなかった形態の宿泊誘発が図られ、雄川の滝で行うコンテナハウスを活用したカフェの営業に伴うビジネスチャンスの創出により収益の増大が見込まれます。これにより、来訪者が増え、外貨流入から、町内還流までの一貫した経済基盤の確立に寄与すると考えます。



雄川の滝駐車場に設置中のコンテナハウス

議員

観光振興により、経済基盤を確立する為には、「本物」を作る事だと考えます。その場ののぎの、付け焼刃的な観光ではだめだという事です。南大隅町観光のブランド化、要するに、他にはない、ここにしかないものを、意思統一を図りながら作り上げていくべきだと考えます。今回、観光協会により招聘された地域観光プロデューサーより「Fiscal Year 2018」なる企画書が提出されました。私も期待感をもって読ませていただきました。そこで、この企画書に対する町長の率直な感想を伺います。

町長

短期間のうちに町のマーケティングをされ、この企画書を作成されました。非常に夢のある内容で、色々なポテンシャルを持った町である事を痛感させられる内容だったと思います。

議員

この地域で観光産業を育成し、サステイナブルな観光地域づくりを実現しようとするのであれば、地域が一体となった魅力的な観光づくりの為に、明確なコンセプトに基づいた戦略を策定し、関係者が実施する観光関連事業とその戦略の整合性に関する調

整・仕組みづくり・プロモーションなど、多様な関係者との合意形成を図っていく必要があります。そこで、一元化された情報発信やプロモーションを実施する事により、観光客を呼び込み、ひいては観光による地方創生も可能になると考えます。この様な事業を実現できるのがDMOであると私は考えます。

DMOとは観光地域をマネジメントする団体の事であります。それでは、本町に於いても、日本型DMOを形成し、観光地及び観光産業を継続してマネジメントする仕組みを作り、今後の観光産業を展開していく考えはないか伺います。

町長

日本版DMOの取組は大隅広域4市5町で設立した「おおすみ観光未来会議」の中で協議され、今年7月に設立予定です。DMOは、観光地域づくりの核として、行政主導では出来なかつた民間主導の体制が推進できると考えます。本町においてDMOに近い組織は観光協会だと考えます。今後は、民間問わず、観光に携わる団体等で観光を総合産業としてマネジメントする組織は、重要と考えますので、DMO的な役割を担える人材、組織の育成に努めていきます。

議員のひとり言

大きな事業を成し遂げようとする時は、不退転の気持ちでのぞむべき!!

多目的健康広場について



議員 多目的健康広場の設置目的を伺います。

教育長 グラウンドゴルフ協会より町民の健康増進のためドーム周辺でプレーできる施設がほしいとの要望があり、健康的なスポーツゾーンとして多くの人が安全に遊ぶことができ、多様な活用ができることを目的に整備しました。

議員 利用方法は？

教育振興課長 料金は無料です。利用時間は午前9時から午後6時迄となります。

議員 町営グラウンドの維持管理も思うようにいかない面もある中で多目的健康広場の維持管理はどのように考えておられるのか伺います。

教育長 町有施設であるので町で管理することになります。これまでも利用者の方々には、自主的に草刈りや清掃等を行っていただいておりますので、今後もお協力いただくようお願いし、維持管理に努めていきたいと考えています。又、シルバー人材センターにもお願いすることもあるかと思えます。

議員 近隣住民への台風、大雨など災害時の危機説明は充分なされたのか伺います。

教育振興課長 説明はしてあると引き継いでおります。

議員 多目的健康広場の完成による入込人口、交流人口はどの程度見込まれておられるのか伺います。

教育長 今より数倍近く増加すると予想されます。

主要施設が集まっているので利用にも便利な位置であると思われ、多様なイベントも開催可能になり更なる交流人口の増大も見込んでおります。



議員 利用する人は車の運転が出来る人に限られる可能性も多いと思われるので、今後どのように利用稼働率を高めていくかも大事なことでないでしょうか。

グラウンドゴルフ以外にも子どもたちがいつでも利用でき、そして多くの町民が気軽に利用できる多目的健康広場であってほしいです。

また、駐車場不足との理由でネッパイ館・なんとん市場等に支障がないようくれぐれも配慮していただければ幸いです。

※3月に完成しましたが芝養生のため多目的健康広場の利用開始は8月頃の予定です。



議員のひとり言

近隣住宅や住民に迷惑がかからないように運営していただきたい。

調査事務管所

民生民務総 常任委員会

産業教育 常任委員会

【災害に強い町づくり等調査】

兵庫県太子町において2月13日「災害に強い町づくり等調査」を実施。太子町では「発災対応型防災訓練」と呼ばれる訓練を実施しており、これは訓練会場に参加者を集める「会場防災訓練」と違い、普段生活している地域を訓練会場とし、地区内各所で「火災」「建物倒壊」「負傷者発生」といった模擬災害が発生したものととして、住民自らが状況を判断し、対処していく形の訓練であり、実際の災害の際に即応能力を養う事ができる訓練であった。

太子町では、平成22年度からこの訓練を実施しており、訓練当日は消防署員や防災リーダーの補助的役割を担うそうです。自治会放送を合図に訓練を開始し、避難、要援護者の安否確認、負傷者の応急救護などの訓練、危険個所の確認、福祉避難所の訓練、倒壊家屋からの救出訓練、炊き出し訓練なども実施されていました。

太子町の取り組みは、今後わが町の防災対策に大いに参考になるものでした。

【小中一貫教育等調査】

2月13日に、姫路市役所において小中一貫教育等調査を実施しました。

同市は、9年前から小中一貫教育に取り組んでおり、小中一貫校を作らずに現行の教育制度の中で小中一貫教育を進め、市内を35ブロック（中学校区）に分けています。同市は、市街地・山間部・島嶼部・工業地帯・商業地域・山村地域があり、取り組み内容を一律に強制するのではなく、各ブロックの小中一貫教育推進委員会の取り組みを尊重し、共通目標を「子供たちの学力向上」と「人間関係力の育成」を掲げ、各ブロックの実態や、地域の特性・特色により35通りの取り組みが行われています。

小学校と中学校の垣根を低くした枠組み、教職員の意識改革、協働した取組（指

導）、地域資源の活用によって、子供たちを変えていく取組をされています。

小中一貫教育が目的ではなく、手段として取組むことによつて、施設が離れていても、指導方法・指導内容・指導形態等を9年間、一貫した教育を行うことができ、子供たちに豊かな学びを提供できることがメリットです。

今回は、教育長も同行し質問され、この取組みにかける意気込みを強く感じました。平成33年度には9年間の教育課程を編成することを目指し、平成30年度から取組みを開始する予定です。前回の熊本県産山村の所管調査と今回の姫路市と調査して、本町の小中一貫・小中連携に大変参考となる調査でした。

【小さい拠点づくり等調査】

東広島市の北東部の中山間地域にあり、平成10年頃から小学校や保育園の廃校・廃園さらに小田診療所の閉鎖の動きがあり、集落が崩壊する危機感があり、話し合いを何回も重ね、自分たちの地域は自分たちが守るといふ機運が高まり、自治組織「共和の郷・おだ」が設立されました。

小さな山間地域である小田地区の活動は、わが町の校区公民館や自治会などの活動のあり方や地域振興に大いに参考になる所管事務調査でした。

【地域産業育成等調査】

小田地域の特徴は、小さな役場機能を担う自治組織「共和の郷・おだ」、小さな農協機能を担う農事組合法人「ファーム・おだ」を「2階建て方式で地域対策と農業対策の連携を上手く機能しています。「ファーム・おだ」は、「共和の郷」の8つの組織のうち「農村振興部」が母体となり、設立された農事組合法人。地域農産物の高付加価値化や6次化など徹底した経営改善で黒字運営している。また、米粉パン工房を設立するなど地域へ収益還元し、雇用も創出しています。高齢化や耕作放棄地が増えている本町の一次産業の育成方策に、おおいに参考になりました。

忘れても心は生きている!! 認知症を学ぶ

認知症の人への対応の心得 3つの“ない”

驚かせない

急がせない

自尊心を傷つけない

受講希望者は、
介護福祉課まで



さとみば~ちゃん来たる!!

**認知症サポーター
養成講座について**

平成三十年二月二十七日に町議会でも受講しました。高齢化率46%と県内自治体で最も高い町だからこそみんな支えていけたらと思います。

自治会や職場の仲間と気軽に受講してみませんか？
さとみばあちゃんが分かりやすく教えてくれますよ。

編集後記

改選後、1年経過し4名の新人議員も研修などを通じて日々研鑽に努めております。

又、議会だより編集委員としても毎回号、試行錯誤しながらも創意工夫に努め与えられた紙面の執筆に取り組んでいます。さらに一般質問も毎回、質問するよう努力しておりますが、一般質問とは各議員が住民の代表として、住民の要望等を町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をただすことですが、その内容については「議会だより」で紹介しております。今後「あの質問どうなった」等にも取り組みたいと思います。

次に、本年度中に佐多岬や雄川の滝の工事も完了し併せて明治維新150年の節目に「西郷どん」の放映で「雄川の滝」が紹介されており本町が全国から注目されております。一過性のブームに終わらせるのではなく「もう一度行ってみよう」とリピーターを増やす工夫をしてもらいたいと思います。そのためには来町された方々に満足いく食事とお土産の提供だと感じます。

最後に、議会に対するご意見や「みんなの議会」を読まれた感想などを、お寄せください。

木佐貫 徳和

表紙の風景

神山小学校入学式



【お知らせ】

6月会議は、本庁議事堂で開催されます。

「みんなの議会」では見る事ができない議会が、ご覧になれます。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

〔発行責任者〕

議長 大村 明雄

〔広報広聴常任委員会〕

委員長 水谷 俊一

副委員長 木佐貫 徳和

委員 津崎 淳子

委員 後藤 道子

委員 日高 孝壽

委員 大坪 満寿子